

**【重点分野－2】2020 春季生活闘争
第3回中央闘争委員会 確認事項**

連合は、本日開催した2020 春季生活闘争の第3回中央闘争委員会において今後の進め方を協議し、以下の通り確認した。

I. 最近の特徴的な動き

1. 至近の経済情勢について

- ・ 日銀は2020年1月の「経済・物価情勢の展望」（1月22日公表）において、「海外経済の減速や自然災害などの影響から輸出・生産や企業マインド面に弱めの動きがみられるものの、所得から支出への前向きの循環メカニズムが働くもとの、基調としては緩やかに拡大している」とした。ただし消費者物価には「弱めの動きが続いている」とし、その背景として「賃金・物価が上がりにくいことを前提とした考え方や慣行が根強く残るもとの、企業の慎重な賃金・価格設定スタンスや家計の値上げに対する慎重な見方が明確に転換するには至っていないこと」があると分析している。
- ・ 一方、内閣府の2019年10-12月のGDP速報値（2月17日公表）は、物価の変動を除いた実質で前期比1.6%減、年換算で6.3%減と、5四半期ぶりにマイナスとなった。消費税増税および大型台風や暖冬による個人消費の伸び悩みが要因とみられる。
- ・ 総務省と厚生労働省がそれぞれ公表した（1月31日）2019年12月分の完全失業率と有効求人倍率は、いずれも前月同率の2.2%、1.57倍となり、依然全体として堅調な雇用情勢が続いている。

2. 新型コロナウイルス感染症について

- ・ 新型コロナウイルス感染症について政府は流行が認められている状況ではないとしているが、入国管理のさらなる強化や医療機関の受診の目安をまとめるなど、感染拡大防止にむけた緊急対応策を日々策定している。今後の対応や経済活動への影響などに注視が必要である。

II. 当面の闘い方

1. 要求提出と3月末までの回答引き出しに向けた交渉配置

- ・ 構成組織は加盟組合に対し、すべての組合が要求を提出すること、また本格的に交渉を進め、有期・短時間・契約等の雇用形態で働く労働者を含むすべての働く者の「底上げ」「底支え」「格差是正」への取り組みを強化するよう指導する。
ヤマ場である3月10～12日を含む「第1先行組合回答ゾーン」（3月9～13日）に可能な限り多くの組合が回答を引き出すべく、交渉配置を行う。加えて、あらゆる状況を想定してスト権の確立やその他の戦術が速やかに取れるよう、闘争体制の点検・整備をはかるよう指導を強化する。また、要求・回答内容や交渉経過について、速やかに連合本部に報告するとともに、地方連合会の「共闘連

絡会議」とも連携する。

- ・ 部門別共闘連絡会議は加盟構成組織間の情報交換を密に行い、要求提出および3月内決着に向けた交渉配置に資するよう努める。
- ・ 地方連合会は地場共闘体制の確立・強化を進めると同時に効果的な情報発信を行い地場相場の形成に努める。

2. 賃金の相場形成と社会的波及力の取り組み強化

- ・ 構成組織および地方連合会は、連合本部の「中核組合の賃金カーブ維持分・賃金水準」「代表銘柄・中堅銘柄」(1月24日公表)、および「2020地域ミニマム運動(2019年賃金実態調査)」で得られたデータを分析した「都道府県別・大括り産業別の賃金特性値」(2月19日公表)などを活用し、賃金水準の相場形成と社会的波及に努める。
- ・ 連合本部は、要求・回答集計の公表に合わせて記者会見を実施する。第1先行組合の回答集計を公表する3月13日は部門別共闘連絡会議との合同記者会見とし、部門ごとの回答引きだし状況を広く社会に波及させるよう努める。

3. 社会対話の促進

- ・ 各経済団体などとの意見交換を随時実施し、労働者側の主張を広く社会に発信するよう努める。
- ・ 「連合アクション～みんなの春闘～」にもとづき、3月3日および3月6日に、交渉のヤマ場に向けてアピールを行う。
- ・ 常設の「なんでも労働相談ホットライン」の活動を強化し、3月6日には「LINE労働相談「働きすぎにレッドカード!!～本日3月6日はサブロクの日です～」を実施する。

III. 当面の日程

1. 機関会議

2月20日	第3回中央闘争委員会(第5回中央執行委員会後)
3月3日	第4回戦術委員会(第8回三役会後)
5日	第4回中央闘争委員会(第6回中央執行委員会後)
4月1日	交通・運輸共闘連絡会議第2回書記長・事務局長会議
2日	流通・サービス・金融共闘連絡会議第2回書記長・事務局長会議

2. 諸行動

2月～3月	経済団体との協議
2月18日	公正取引委員会、厚生労働省への要請行動
3月3日	2020春季生活闘争・政策制度 要求実現3.3アピール
6日	2020春季生活闘争 3.8国際女性デーアピール 連合本部LINE労働相談「働きすぎにレッドカード!! ～本日3月6日はサブロクの日です～」

3. 情報発信

- 2月20日 第3回中央闘争委員会確認事項
- 3月 5日 要求集計結果公表
第4回中央闘争委員会確認事項
- 9-13日 「回答速報」公表
- 13日 第1先行組合回答ゾーン集計結果公表および共闘連絡会議合同記者会見
- 19日 第2先行組合回答ゾーン集計結果公表および記者会見

以 上

【重点分野ー2】連合アクション ～みんなの春闘～
2020 春季生活闘争・政策制度 要求実現 3.3 アピール 開催要領

【スローガン】

私たちが未来を変える！
すべての労働者の「底上げ」「底支え」「格差是正」と働き方の見直しで！

2020 春季生活闘争のヤマ場（2020 年 3 月 10～12 日）に向けて、すべての組合が月例賃金の引き上げにこだわった闘いを進め、すべての働く者の「底上げ」「底支え」「格差是正」と、労働者の立場にたった働き方の見直しをめざすとともに、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けた政策・制度の課題に取り組む意志を固めるため、以下のとおり街宣行動を実施する。

I. 日 時：2020 年 3 月 3 日（火） <第1地点>17:30～18:00 ※終了後、移動
<第2地点>18:30～19:00

II. 場 所（候補）：<第1地点> J R 新宿駅、<第2地点> J R 新橋駅

III. 内 容（案）： **【司会】** 富田中央闘争委員

主催者代表あいさつ 神津 里季生 中央闘争委員長

各共闘連絡会議代表者からの決意表明：

※各地点で5共闘連絡会議からそれぞれ2、3名が決意表明を行う。

アピール（案）採択 渡辺由美子 中央闘争委員（J P 労組書記次長）

がんばろう三唱 相原 康伸 中央闘争事務局長

IV. 備 考：

宣伝器材等の配布は実施しない。

以 上